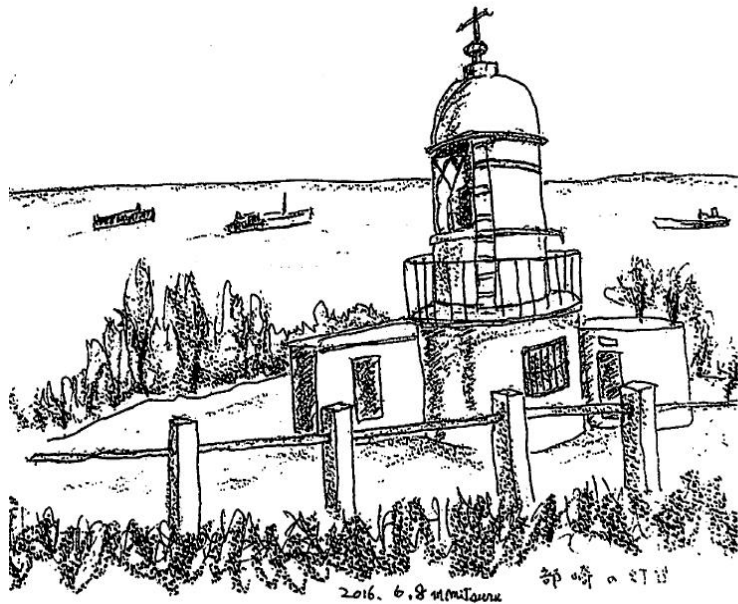


週報2022年9月18日



2022年教会標語聖句

起きよ。光を放て。あなたの光が来て、
主の栄光があなたの上に輝いているからだ。

イザヤ書60章1節

シオン教会信仰指標～人生が変わる！御言葉の光に照らされて～

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX...4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2022年9月18日

ピアノ：赤松姉 オルガン：力丸勝子師

司会：吉田兄 献身の祈り：小田姉 メッセージ：山崎師

開会の祈り		司会者
信仰告白	使徒信条・標語聖句唱和	
賛美	新聖歌 25「キリストは生きておられる」	
特別賛美	新聖歌 171「今日まで守られ」(有志)	
祈 禱	* 今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！*	
献身の祈り		小田 姉
賛美	新聖歌 329「御国への道歩むとき」	
賛美	コーラス 25「我が灯のために」	
聖書朗読	ヨハネの福音書 12章 1-8節	
説 教	「葬りの日の為に」	山崎 師
応答の祈り		
頌 栄	「主の祈り」	
祈 禱		山崎 師

交わりの三省

- *互いに愛し合っていますか
- *互いに赦し合っていますか
- *互いに祈り合っていますか

説教要約

ヨハネの福音書 12章1-8節 「葬りの日の為に」

① “関係” について

関係という言葉がヨハネの福音書で2回出て来ます。カナの婚礼でイエス様が母マリヤに対して一回、そしてイエス様が十字架にかかる直前、ペテロの足を洗う時に彼に一回使っています。たった二回ですが、この福音書を理解するために重要な言葉です。

この二つの話を繋ぐなら“イエス様は僕の姿になり、そして尊い犠牲が払われた。”と言う事です。そしてそれが何を意味しているかと言うと、“その尊い犠牲【十字架】によって神と人間の【関係】が結ばれた”と言う事です。今の私達が存在するのは友の為に命を捨てた、主の愛の故です。

この事を前提として見る時に、今日のマリヤがイエス様に高価なナルドの香油を使った出来事は、イエス様とマリヤの“親密さ”つまり関係の深さがわかる話なのです。この話はマリヤの愛の行動、つまり犠牲の伴う愛にスポットライトが当たっています。彼女のした事は愛するイエス様の【葬りの日】の為に香油を使ったと言う事です。

② 葬りの日の為に

マリヤ以外、イエス様がここにいる意味を理解していないと言う事がこの話のポイントです。イエス様の為の晩餐が催されました。人々がイエス様の奇跡に感動し賞賛したからです(ヨハネ 12:9)。しかし、群衆はイエス様の奇跡を賞賛してもその意味を知ろうとしません。今日の箇所の一のキーマンはイスカリオテのユダです。彼はマリヤの行為の真意を理解しようともせず、マリヤを非難します。

つまり今日の話の核心は【イエス様の葬りの為に香油を使う】
＝【イエス様が死ぬ意味を理解している】という事です。

【人がその友の為に自分の命を捨てる事、これよりも大きな愛はありません】。これはイエス様の言葉です。マリヤはその友とは私の為だという事がわかっていました。だからマリヤも友・イエスの葬りの為に香油を使いました。犠牲の伴う愛によって生じた愛。マリヤはその愛を香油という形(犠牲)で応答しました。そしてその時放たれた香りは今も世界に広がり続けています。

イスカリオテのユダは一見賞賛されそうな言葉を言っています。道徳的に満点の答えです。しかし彼は自分の言葉に酔いしれ、自分に金銭や賞賛が集まる所へ自らの心と体を向けています。その結果彼はイエス様を裏切ります。彼はイエス様の道が見えませんでした。重ねて書きますが、今の私達が在るのは、友の為に命を捨てたイエス様の愛の故です。マリヤは人の賞賛よりも、神に賞賛される道を選びました。

③ イエス様と関わる

マリヤの姿勢を通じて、私達に投げかけられるメッセージは「今、私とイエス様の関りはどうか?」ということです。言い換えるとイエス様との親密度、です。イエス様の愛は変わりません、そしてこれからも変わりません。ならばイエス様と“親密”といえます。しかしイエス様はこの福音書の中で問います。「私とあなたはどんなにかかわりがあるか?」と。

“人”と言う字のとなりに“十”を書いて“仕”と書きます。イエス様の向かう道が見える人は、イエス様と行動を共にする人です。つまり、仕える人です。聖書に従って、仕える事でイエス様の愛に近づく事が出来るのです。

最後にペテロがイエス様に従ったのは、【裏切ったのにもかかわらず赦された愛】の故です。ユダが知らず、ペテロが知ったことです。その愛が私達を何度でも【仕える道】へと導いて下さいませ。私達が仕えるのは、修行や苦行の為ではありません。隣人が本当の愛に出会う為です。今私達がイエス様の為にとっているものは何でしょうか?それをささげる時、愛の香りが遣わされたところに放たれて行きます。